

生産と人間部会企画研究会 令和7年度第4回研究会 テーマ：『「レイテンイチ」、が遺言や！』～職人一家の技術継承～

令和7年12月9日（火）13:30-17:00

1. はじめに

生産原論専門委員会では、生産技術史部会、先端生産技術部会、生産哲学・倫理部会、生産と人間部会が年1回ずつ研究会を企画し開催しています。第4回研究会は「生産と人間部会」が担当しました。会場は日本工業大学をお借りして技能伝承を主テーマとした講演会と、工業技術博物館の見学会を実施しました。ここでは、講演会と見学会の概要について報告し、最後に次回予告を致します。

2. 研究会の概要

12月9日(火) 13時30分から日本工業大学にてハイブリッド形式の講演会と、対面での見学会を行いました。当委員会会員と学生を含め約12名の参加がありました。講演では、講師に赤坂氏をお迎えすることができました。また、見学会では工業技術博物館のご協力で、清水館長、上原学芸員からお話を伺うことができました。あらためて感謝申し上げます。研究会後は講師を囲み、技術交流会を行って、さらに議論と懇親を深めることができました。

3. 講演及び見学会内容

13:35～15:00 講演会（討論含む）

15:20～17:00 見学会

3.1 講演テーマ

『「レイテンイチ」、が遺言や！』～職人一家の技術継承～

赤坂金型彫刻所 三代目 赤坂 兵之助 氏

現代の名工である三代目赤坂兵之助氏に技能伝承の極意をご披露頂きました。講演題目にあるように『レイテンイチ (0.1)』(mm) という精密加工を汎用機械で実現する職人技について、様々な角度からお話し頂きました。本技能の柱となる「半月一枚刃」について紹介がありました。次に、NC 工作機械に装着して実に精巧な造形物を製作する加工技術が紹介されました。会場で加工品現物を手に取って拝見できました。この「赤坂式半月彫刻法」は名工と呼ばれる所以となった技能・技術でした。初代の不屈の精神を受け継ぎ、二代目の神業に迫ろうとする三代目の内面世界についても包み隠さず紹介してくれました。技能伝承に近道はないという言葉に重みを感じました。

3.2 日本工業大学工業技術博物館見学会

工業技術博物館 館長 清水 伸二 氏、
学芸員 上原 嘉宏 氏

はじめに清水館長から歓迎の挨拶があり、館内の概要についてパンフレットをもとに説明頂きました。続いて、館内を回りながら上原学芸員より、工作機械（旋盤、フライス盤、研削盤、ボール盤、マシニングセンタなど）の歴史について古い順に時代を辿りながら解説を頂きました。発展の経緯がよく理解でき、時代のニーズに応えた先人の弛まない努力をあらためて感じることができました。展示物の中には小林昭氏の関わったレーザ装置（国内産初号機）もありました。当館は動態保存を基本としており、先人の知恵をリアルに伝える貴重な教材が数多くありました。



4. おわりに

お忙しいなか膨大な資料をご準備頂き、ご講演頂いた赤坂兵之助氏、工業技術博物館の清水館長、上原学芸員に心より御礼申し上げます。次回は、**令和8年1月26日(月)** 総会后 15 時から特別講演会を開催します。講師に川本豊氏をお招きし、「奥の風景—日本古典文学にみる住まい」と題してお話を伺います。会場は総会と同じ埼玉大学東京ステーションカレッジです。なお川本氏は遠方にお住まいのため、当日はオンラインでのご講演となります。会員の皆様におかれましては、万障お繰り合わせのうえ、オンラインにて聴講頂きますようお願い申し上げます。なお詳細は、生産原論専門委員会 HP をご覧下さい。

<https://spe-lab.mech.saitama-u.ac.jp/principle/pm-index.html>

生産と人間部会研究会 永野 善己(文責)